第１学年○組　道徳科学習指導案

指導者　○　○　○　○

１　主題名　　友情の花を育てるには　Ｂ　友情、信頼

２　資料名　　いつもいっしょ　（中学道徳１　きみがいちばんひかるとき　光村図書）

３　主題設定の理由

（１）生徒観

本学級では、「友情」「助け合い」「個性」「節度」「思いやり」の五つの柱を級訓「flower」に込め、学級活動でこの力を高める活動を行ってきた。「節度」「助け合い」では、その時の学級の状態を振り返ることができ、学級をよくしようとする活動を生徒が自ら考え、意欲的に取り組み、その力を高めてきた。しかし、「友情」については、現状のできていることやできなかったことを見出せず、「友情」を高めるための具体的な行動を思いつかず、改善活動が行われていない。また、ふだんの生活では、仲間に嫌われたくないという思いから、別の考えをもっていても同調してしまったり、黙り込んでしまったりする姿を見かける。

（２）主題について

中学生の時期は、大人への依存から脱し、独立した自我を作ろうとする段階にある。それゆえ、同世代に、自己のよき理解者を求めようとする一方で、友人との距離のとり方がわからず、つまずいたり、気まずくなったりしやすい時期でもある。そのため、表面的な仲間関係にしがみついたり、無批判に相手に同調したり、最初から傷つくことを恐れ、一定の距離をとった関係しかもたないでおこうと考えることもある。しかし、それでは真の友情を築くことはできない。真の友情は、互いに励まし合ったり、助け合ったり、時には注意し合ったりすることで育ち、深められていく。そのような考えをふだんの生活でも意識することで、真の友情について考えるようになるだろう。

本資料は、真理子が、些細なことの積み重ねからみゆきと仲違いをし、安易な考えから恵子に同調して、みゆきを無視するようになってしまうという内容である。気持ちを素直に伝えてくるみゆきの姿に心を揺さぶられ、自分の過ちに気づき、友人関係をやり直そうとする。そのような真理子に、生徒が感情を移入することは容易なものだろう。実際に生徒の身に起こりうる可能性もある本資料は、生徒の考えを揺さぶるに十分なものであると考える。

（３）かける願い

授業では範読を、真理子がみゆきに思いを伝えられ、友情についての考えが揺さぶられる場面で止め、自分が真理子の立場だったら、みゆきと恵子とどのような関係を築いていくかを考えさせる。安易に恵子の方に流れたくなるが、みゆきとの真の友情をとりたいという葛藤を真剣に考える中で、真の友情に大切なことに気づかせたい。また、生徒からでてきた具体的な行動を行うような意見に対しては、その理由を尋ねたり、違う意見の生徒を指名したりして、自分の考えをもう一度考える時間を作ることで、真の友情について深く考えさせたい。

この授業を行うことで、今の友人関係を見つめ直し、よりよい友人関係を育て、真の友情へと昇華していくにはどんなことが大切であるかを知り、学級全体で「友情」を高めるためのきっかけとなることを期待している。

４　本時の指導

（１）本時の目標

　　　真の友情とは何かを深く考え、互いに信頼し、支えあう人間関係を築こうとする心を育てる。

（２）準　備

　　　登場人物の絵、資料「いつもいっしょに」、道徳ノート、テレビ

（３）展開　　・★主（主体的な学び）　★対（対話的な学び）　★深（深い学び）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 生徒の活動 | 留意点･教師の支援 |
| 導入 | １　名言と級訓を結びつけ、「友情」から連想する言葉を発表する。★主一言で言うと友情とは。・仲がよい友達　・信頼している | ・ジョージワシントンの名言に触れ、ねらいに対する意欲をもたせる。 |
| 展開　※思考・協働 | ２　友人関係について考えを深める。（１）資料の範読を聞く。（２）自分が真理子の立場だったら、今後、どのような友人関係を大事にしていこうと思うか、理由も考え、発表する。★主　★深自分がもし真理子の立場だったら、みゆきと恵子の友情について、どのような選択するか。みゆき・親友だったからその信頼は無くなってないだろう。・謝ったら許してくれるかもしれない。両方・どちらかは選べないから２人ともと仲よくする。・みゆきはずっと一緒にいて仲よくしてきたし、恵子は自分のためにやってくれたから。恵子・今さらみゆきに謝っても許してらえないかもしれない。・恵子を裏切ったら、私が標的になるかもしれない。２人ともやめる・一方だけと仲よくするのは、もう一方に悪い。・みゆきはまた同じことをしそうだし、恵子は性格が悪そうだから。（３）残りの範読を聞く。真の友情を育てるたるためには、どんなことが大切だろうか。３　真の友情を育てるために大切なことは何かを発表する。★主　★深　・お互いに支えあう関係。　・何でも言い合える関係。 | ・登場人物のイラストを使って関係を分かりやすく提示する。・机間指導で、決めきれていない生徒には、自分の体験から考えさせるよう促す。・お互いに励ましあい、高めあい協力を惜しまないという人間関係が真の友情であると気づかせる。 |
| ふり返り | ４　教師の話を聞く。５　授業の振り返りを書く。★深 | ・展開で価値追求を行っているので発表をさせず、自分との対話でとめておく。 |

（４）評価

友達との関係作りに大切なことについて考えることができたか、授業の様子やワークシートの記述から判断する。

高評